

## 研究成果

<p>サブテーマ名: 種苗量産技術開発 小テーマ名: 実証試験</p>
<p>サブテームリーダー(所属、役職、氏名) 長崎大学大学院生産科学研究科、教授、萩原篤志</p> <p>研究従事者(所属、役職、氏名) (株)長崎県漁業公社、生産課長、大谷拓也 (株)長崎県漁業公社、主任技術員 久保田康則 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、所長、池田義弘 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、魚類科長、宮木廉夫 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、門村和志 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、築山陽介 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、濱崎将臣 長崎県総合水産試験場、種苗量産技術開発センター、土内隼人 長崎県産業振興財団、研究員、赤澤敦司 長崎県産業振興財団、研究補助員、藤木 渉 長崎県産業振興財団、研究補助員、的山悦子</p>
<p>研究の概要、新規性及び目標</p> <p>研究の概要: 長崎県総合水産試験場において技術開発した特産種マハタの種苗生産方法を親魚育成から採卵魚、仔稚魚の餌料、飼育環境等ウイルス対策を含めた飼育技術を再現することを目的とした。実証試験を実施して、技術上の問題点を抽出し、上位テーマの総合水産試験場における量産技術開発試験へ解決すべき課題の提言を行い、その課題の解決方法に対して共通認識で取り組んだ。</p> <p>研究の独自性・新規性: 研究現場が水産試験場から他機関に移行することで、スタイルとしては、より民間機関への技術移転に近い形になっている。ただし、卵巣卵母細胞と精子のPCR検査によるウイルス垂直感染防止策および受精卵のオキシダント海水での洗浄、飼育水の殺菌等のウイルス防除対策や飼育水槽内の流れ等の飼育環境の制御という、これまでの民間種苗生産機関では備えてないレベルでのウイルス防除対策を備えた総合飼育を行うことで、初期生残率が大幅に向上させて、マハタの種苗生産技術開発を完成させる。</p> <p>また、生産した種苗を県内養殖業者に養殖試験用に配布する。</p> <p>研究の目標(フェーズ毎に数値目標等をあげ、具体的に) フェーズⅠ: 種苗生産技術を実証する。 フェーズⅡ: 開発した種苗生産技術を県内種苗生産機関へ普及を図る。</p>
<p>研究の進め方及び進捗状況(目標と対比して)</p> <p>平成17,18年度にマハタ種苗生産実証試験を実施し、平成17年度は全長40mm45,000尾、18年度全長40mm30,000尾を生産した。採卵技術、初期飼育技術、陸上水槽でウイルス性疾病预防対策についての技術の修得を図り、種苗の安定生産の目途が立った。</p>
<p>主な成果</p> <p>具体的な成果内容: マハタ: 共同研究により開発した技術の再現性を確認した。</p> <p>特許件数: 0      論文数: 0      口頭発表件数: 0</p>
<p>研究成果に関する評価</p> <p>1 国内外における水準との対比 2年間連続して採卵、種苗生産に成功しており、採卵技術や初期飼育技術についての飼育レベルは、他の国内外機関よりも高い。</p> <p>2 実用化に向けた波及効果 長崎県の養殖業はブリ・マダイ等に偏重し、収益力が次第に落ちている。また、沿岸漁業資源についても減少傾向にあり、積極的な種苗放流による資源増大が望まれている。こうした背景で新魚種の需要は高く、マハタ等の高級魚の種苗が安定して供給できれば、新しい産業として育成できる可能性が高い。また、県内の種苗生産機関は組織化しており、定例的に情報交換するなど、開発した技術を円滑に普</p>

及できる体制がある。さらに行政施策としても民間養殖業者の新魚種養殖のリスクを軽減し、新魚種の導入を容易にするために「養殖魚種多様化推進事業(H18～20)」等を創設して、積極的に業界の取り組みを支援している。

残された課題と対応方針について

マハタの効率的な生産技術の開発によるコスト低減

	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	小計	H13	H14	H15	H16	H17	H18	小計	
人件費	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	11,400	7,200	18,600	18,600
設備費	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
その他研究費(消耗品費、材料費等)	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	4,000	4,000	8,000	8,000
旅費	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
その他	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
小計	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	15,400	11,200	26,600	26,600

代表的な設備名と仕様[既存(事業開始前)の設備含む]

JST負担による設備:

地域負担による設備:大型水槽、海水殺菌装置

複数の研究課題に共通した経費については按分する。